

とくしまスマート県庁推進プラン について

令和3年8月

行財政改革の推進にあたって

プランの性格と役割

県政運営の指針である「『未知への挑戦』とくしま行動計画」や「vs東京『とくしま回帰』総合戦略」など、各計画の着実な推進を支援し、「SDGs」の目標達成にも貢献できるよう更なる行財政改革に取り組む



3つの国難

- ◇ 新型コロナウイルス
- ◇ 人口減少
- ◇ 災害列島



世界的課題

- ◇ グリーン社会の実現
- ◇ デジタル社会の実現

未来技術の積極的活用等により、質の高い行政サービスを提供できる持続可能な行財政基盤構築により、県の施策を推進

社会構造の変化に対応した行政体制
→時代とともに変化する行政課題や県民ニーズにスピード感をもって対応

組織人員の体制整備・予算の重点配分

新型コロナウイルス対応 「機動的な予算措置」

R3年度コロナ対策予算
累計 376億円

当初予算228億円 4月補正40億円
5月補正 67億円 6月補正41億円

**感染状況の
変化に即応!**

新型コロナウイルス対応 「経済対策の強化」



「協力金・助成金」で支援

◆時短要請に伴う飲食店への協力金

- ・支給額
3万円～7.5万円/1日あたり
 - ・申請件数
6,738件 (R3/6末)
- 累計 (第1期～第3期)
※1店舗で複数期を個別申請した場合は複数件を計上



◆飲食関連事業者への支援金

- ・対象者
 - ・時短要請に協力した飲食店と取引がある事業者
 - ・タクシー事業者
 - ・自動車運転代行事業者
- ・支給額(上限)
法人40万円 個人事業者20万円

◆宿泊事業者による感染防止対策等への支援

- ・感染症対策に資する物品の購入等経費 (補助率: 1/2)
- ・前向き投資に要する経費 (補助率: 3/4)
ex. ワークーション等に対応した施設改修

「需要喚起」で応援

◆とくしま応援割

- R2/6～8 「とくしま応援割」 4万3千人泊
 - R2/12～R3/2 「冬のとくしま応援割」 3万4千人泊
 - 3/1～4/24 「もっと! とくしま応援割」
4万6千人泊分
- ↓ **リニューアル**
- 6/12～12/31 「みんなで! とくしま応援割」
22万人泊分



◆徳島プレミアム生活衛生クーポン

- 理容・美容・クリーニング・公衆浴場 共通
- 6/21～12/31 **60,000セット 即日完売!**
- 5,000円 (500円×10枚) の
クーポン券を2,500円で販売

検査・医療提供体制

◇**帰省前PCR検査**（累計**904件**） R3/6末現在
やむを得ず本県に帰省される方を対象

◇**ガイドライン実践飲食店・宿泊施設
PCRモニタリング検査**

飲食店（6/1～）

宿泊施設（6/7～）

延べ309店舗 1,117人

13施設 延べ400人

R3/6末現在

◇**変異株スクリーニング検査**

R3/5 **検査能力を大幅増強**

保健製薬環境センターに加え
家畜防疫衛生センターでも対応



◇**入院受入医療機関** **12病院・234床**

◇**後方支援病院** **33病院**

※新型コロナ感染症から回復した後、引き続き入院管理が必要な患者を受け入れる医療機関

◇**軽症者等の
宿泊療養施設**
大幅拡充 276室



ワクチン接種

◇**医療従事者への優先接種**
3/4～6/11 接種完了（**全国2番目**）

◇**高齢者への優先接種**（約24万人）
4/12～ 7月末までに接種完了

◇**職域接種・大学拠点接種の運用**
6/21～ 31団体32会場(6/25現在)で
企業や団体、大学等が実施・手続中

◇**大規模集団接種会場の設置** **全国5番目**
市町村のワクチン接種を補完

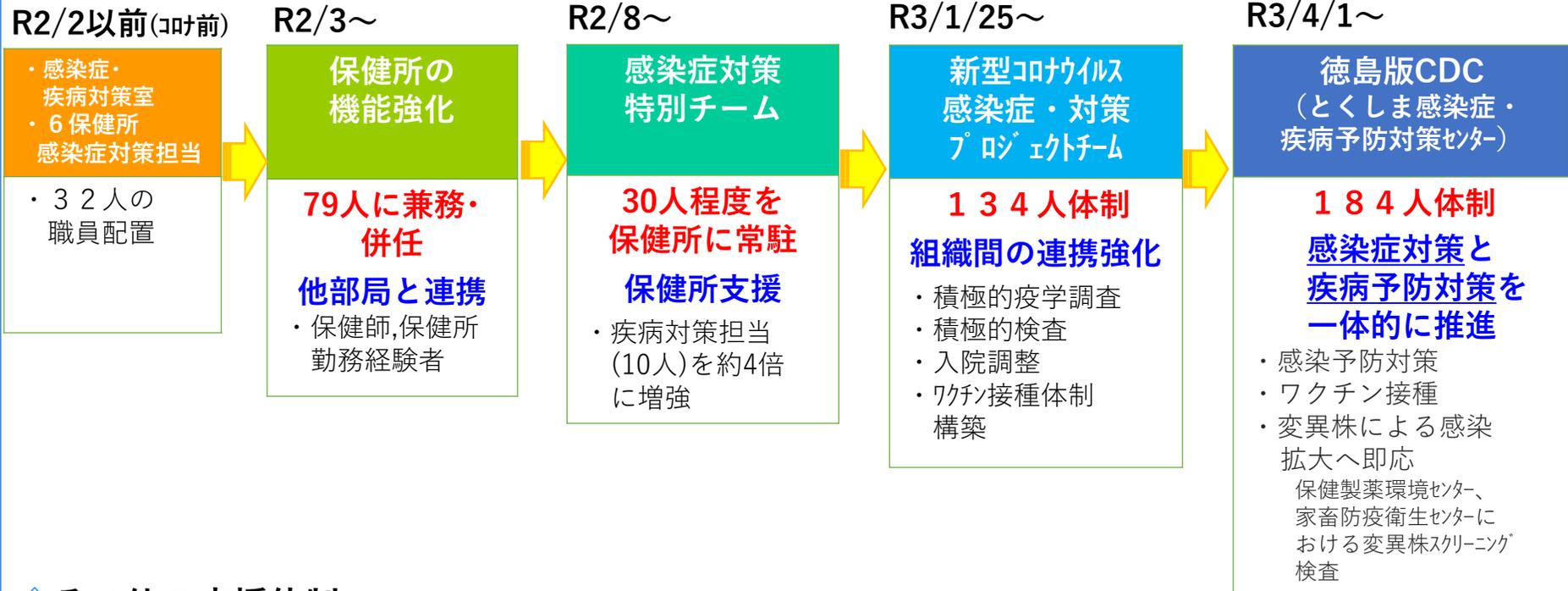
- ・会場 アスティとくしま
- ・対象 徳島市、阿南市、小松島市の65歳以上の方等（6/5～7/15）
保育士・幼稚園教諭・教職員の大規模集団接種（6/19～8/29）
高校生（寮生・3年生）の大規模集団接種（8/7～10/月上旬）



**8月末までに
18歳以上の希望者の5割以上の接種完了へ**

オール県庁で対応

◇感染状況に即応した組織体制



◇その他の応援体制

- ・事業者向け助成金等の支払等業務
 - ・時短要請に伴う飲食店への協力呼びかけ
- 4/16～5/31各部局からの
応援職員による見回り



時短要請中の様子

**4,5月 感染拡大時
応援職員を
24名配置
→感染状況に
機動的に対応!**

- ・ コロナ禍における大都市部への人口集中によるリスク
- ・ UIターンを希望する若者の増加

人の流れを地方へ・徳島へ

中央省庁の地方移転

- ◇ 消費者庁新未来創造戦略本部
消費者行政・消費者教育の
「発展・創造」拠点



2021
R4/3開催

- ・ 1周年記念シンポジウム (R3/7/5)
井上信治担当大臣 県内を視察
- ・ エシカル甲子園2020 全国から**87校**の応募 (R3/3)

地方大学の魅力向上

- ◇ 次世代LEDを核とした産業振興・若者雇用

- ・ 光の最先端研究
- ・ 光応用製品の開発
- ・ 光応用専門人材の育成

地方大学・地域産業創生交付金
(10億×5年間)
県補助金 (2億×5年間) で推進

- ◇ 高大接続教育の展開

阿南光高・新野キャンパス(徳大BIRC)での高大連携講義

徳島ならではの働き方を推進

- ◇ 大企業の地方分散

- ・ 本県発祥「サテライトオフィス」
17市町村、77社 (R3/3)

全国トップ
クラス

- ・ 徳島×ワーケーション「アワーケーション」
地域活動のプログラム化
ex.環境活動、農業体験、森づくり



- ◇ 就業機会の創出

- ・ 「とくしま回帰セミナー」
農林水産業就業希望者対象 (R3/8)
- ・ 徳島県職員「県外社会人枠」採用
(R3/4採用**17名** R4は**27名程度に拡大予定**)

アフターコロナを見据えた展開

- ◇ 「徳島文化芸術ホール(仮称)」

- ・ 県市協調により新たな文化芸術
の創造・発信拠点を整備
- ・ R8 オープン予定



- ◇ 「新たな青少年センター」 R4春
オープン

- ・ eスポーツやアニメを活用
した情報発信施設を新たに整備
- ・ 時代に即した青少年の活動・交流の
拠点へ



- ◇ オール徳島観光商談会 in東京

VR観光体験など官民一体の観光誘客プロモーション(R3/11)

災害列島対策強化



全国知事会
提言→実現

防災・減災、国土強靱化のための**5か年 (R3~R7) 加速化対策 15兆円**

県R3年度
15ヶ月予算

公共事業予算 **1,006億円**確保 (H18年度以来15年ぶりの1,000億円台)

防災・減災・国土強靱化の加速

災害時のバックアップ機能

◇新防災センター「徳島中央警察署」

- ・県庁・県警被災時の
災害対策本部機能を代替
- ・災害対策本部設置訓練 (R3/5/18)



リタイインフラの活用

◇防災拠点となる「旧印刷センター」(R4)



平時
インドア
スポーツや
子育て支援
スペース



災害時
ヘリポート
を備えた
広域物資
輸送拠点

災害防止に向けた整備

◇那賀町和食・土佐地区 築堤完成 (R3/3)

- ・那賀川本川堤防、
輪中堤の整備



◇吉野川・無堤地区の解消へ

- ・阿波市勝命地区
一連の締切工事完成(R3/7)
吉野川河口～阿波市岩津
無堤地区解消



命の道

◇徳島南部自動車道 徳島沖洲IC～徳島津田IC開通

本県初の取組み! (R3/3)

- ・「徳島津田・地域活性化IC」の整備
- ・陸の防潮堤を兼ねる
約2m高く造成した新たな産業団地の整備



災害対応力の強化

◇総合防災訓練 (R3/9)

- ・主会場「防災道の駅」道の駅いたの
- ・災害対応におけるデジタル技術の実装
- ・燃料電池車を活用した非常用電源の確保

GX（グリーントランスフォーメーション）の実装

温室効果ガスを発生させない「再生可能エネルギー」への転換

脱炭素

自然エネルギー協議会会長県として日本をリードする取組みを展開

実質ゼロへ！県民総活躍での取組み

◇気候変動対策「3本の矢」

- ・「すだちくん未来の地球条例」
全国初・脱炭素社会の実現を明記
- ・緩和策 温室効果ガスの排出抑制
- ・適応策 気候変動の影響への適応

◇温室効果ガス削減目標

- ・2030年度削減目標 徳島県▲50% 国▲46%
- ・「2050年温室効果ガス実質排出ゼロ」宣言

水素エネルギーの実装

◇水素ステーションの整備

- ・地産水素を活用した固定式水素ステーション (R3/11予定)
- ・「道の駅いたの」併設水素ステーション (R3/11予定)

◇「走る大型発電所」 燃料電池バスの導入

- ・「鳴門公園線」で運行開始 (R3/11予定)



温室効果ガスの排出削減

◇とくしまパーク&サイクルライド

徳島東環状線の
高架下駐車場から
自転車に乗り換えて
通勤 (R3/7/1~)



高架下
を有効
活用

気候変動に適応する農林水産業

◇地球温暖化の影響の回避・軽減

高水温下でも生育・品質が良い
海藻生産技術や
新たな害虫防除技術の開発



気候変動に
適応した
ワカメ生産
技術の確立

再生可能エネルギーへの転換を促進

◇「再エネ100宣言 RE Action」

- ・アンバサダーに就任(R3/3)、RE Actionへの参加
を検討する事業者への補助制度創設 (R3/6)

◇電力の脱炭素化を实践

- ・「エコみらいとくしま」使用電力
→100%再エネ由来電力の調達実施 (R3/4~)

デジタル改革関連
6法案可決
(R3.9施行)

徳島県デジタル社会推進アクションプラン策定 (R3.3)

- ・オンライン化による利便性の高い「**行政システムの変革**」
- ・誰もが恩恵を享受「**ユニバーサルな環境整備**」
- ・5G等を活用した「**地域課題解決の加速**」

DX(デジタルトランスフォーメーション)の実装

行政システムの変革

行政システムのオンライン化

◇押印手続きの見直し

- ・R3.1「押印見直し対応方針」策定
- ・対外的に押印を求めている手続きのうち
廃止・廃止見込み 96.5% (R3/4/1現在)



↓
電子申請の利用促進へ

◇電子入札システムの拡大

- ・公共工事に加え、**物品購入、委託事業等にも拡大**

◇施設予約システムの利便性向上

- ・県スポーツ施設の予約や空き状況の確認を一元化
(R3/11予定)

行政システムのデジタル化

◇AI・RPAによる業務効率化の促進

- ・**AI** 県HPの情報をAI要約し、県公式ツイッターで発信するシステムの本格運用
- ・**RPA** R2 10部局67シナリオを作成
作業時間 40,000時間→1,900時間 (▲95.3%)
R3 市町村業務への拡大支援

◇公文書の電子化

- ・電子決裁率 R2 86% → **R4 100%目標**

デジタル人材の育成・活用

◇DX人材の採用

- ・県外社会人枠に新たな職種として追加

◇デジタル研修の受講推進

- ・「自治体DX推進講座」



オンラインによる
研修受講の様子

ユニバーサルな環境整備

◆マイナンバーカードの取得 利活用促進

- ・マイナポイントの基盤を活用
消防団活動や健康アプリ
「テクとく」の利用など
地域力向上に繋がる活動に
「県版マイナポイント」を付与



◆教育のデジタル化

本県独自
学びの保障

- ・1人1台端末「GIGAスクール構想」の具現化
公私立問わず、高校・特別支援学校高等部まで実現
- ・テレビ会議システムの活用
県立高校間の遠隔授業や、企業・団体・自治体等
からの配信による特別講座を実施
- ・家庭における通信環境の確保
県立学校に通う子どもがいる世帯への
モバイルルーターの貸し出し

5G等を活用した「地域課題解決の加速」

◆5Gの実装

- ・ローカル5G基地局整備 11施設
R3/7～ 那賀川・海部川河川監視カメラ
鮮明な映像を
CATVやネットで
配信

- R3/9～ 三好病院と中央病院を
ローカル5Gネットワークで接続し
全国初 8Kの手術映像を共有する実証を開始

◆5Gオールインワン人材の育成

中央テクノスクールでの「電気・通信・無線」
全ての技術に対応できる人材育成

◆インフラ分野へのIoT・AI等革新技術の導入

- ・ドローンを活用した海岸保全施設の点検
- ・車両搭載型計測システム
によるトンネル点検



◆ICT建設工事の普及・促進

- i-Constructionの
推進による
建設工事の生産性向上



◆スマート農業の推進

- 鮮明な映像をリアルタイムで
AIが解析、果実の収穫適期を
判定する作業支援システムの開発



社会構造の変化に対応した行政体制

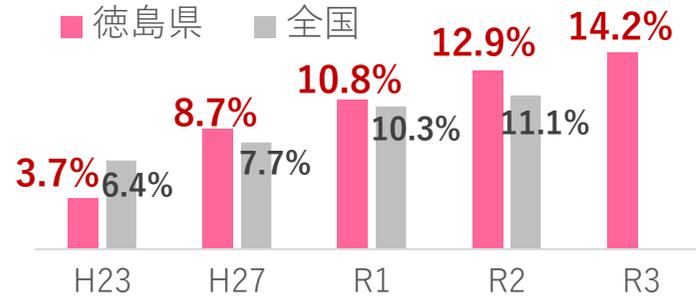
◇36歳以下の若年層職員の割合

H23年度比
10.0ポイント増

H23	H27	R1	R2	R3
20.8%	21.7%	27.2%	28.9%	30.8%

◇管理職に占める女性の割合

H23年度比
10.5ポイント増



◇多様な職員の採用

- ・2年連続200名以上の新規採用枠

R4 220名程度を新規採用予定

過去
最大規模

県外社会人枠 新たな職種を追加
・保健師 ・DX ・建築

→コロナ禍で地方回帰の機運が高まる中、
優秀な人材確保と年齢構成の適正化を
一気に推進！

- ・民間人材の活用

航空会社の社員を採用

旅行業や接客に関するノウハウを
徳島の魅力や県民サービスの向上、
組織の活性化につなげる

◇男性の育児休業取得率

H26年度 2.7% → R2年度 21.7%

【目標】 R4年度 30%

◇多様な勤務形態

勤務開始時間をこれまでの2形態から6形態に
変更、自由に選択 (R3/4~)

8:30 9:30 → 7:30 8:00 8:30 9:00 9:30 10:00

業務継続体制の構築

◇テレワーク実施人数の推移

年度	H29	H30	R1	R2
実人数	76	58	74	516
延べ人数	211	211	167	5,312

R2

- ・個人所有端末での在宅勤務を可能に
- ・新型コロナ感染防止対策や子どもの休校への対応

R3/4 新型コロナ第4波 とくしまアラート
「ステージ3・**感染拡大注意急増**」

4月20日～5月5日

「在宅勤務」 + 「**ローテーション勤務**」による
出勤回避

→ **32.7%** (知事部局)

- ・R3年4・5月テレワーク実施人数
実人数1,381人 延べ人数3,451人

R3/7~9 **テレワーク推進強化月間「あわてれ」**



- ・BCP対応力の強化
- ・所属長が率先して実施
- ・テレワークの障壁となる業務の見直し

「**接触機会の低減**」 「**出勤者の分散**」

→ **業務継続体制の確保**

強靱でしなやかな財政基盤

◇多様な納税手段の導入

自動車税種別割においてスマホアプリを活用した

- ・クレジット収納・電子収納 (R2)
 - ・PayPay収納・LINEPay収納 (R3) を導入
- **県民の利便性アップ・徴収率の向上へ**

◇ふるさと納税

R2 個人 約 5,370万円
企業 約1億3,000万円

R2 クラウドファンディング
3件 約570万円



◇既存ストックの有効活用

- ・全国初 県立夜間中学「**しらさぎ中学校**」(R3/4開校)
徳島中央高校の産業教育実習棟を改修

・木のおもちゃ美術館

(R3/10オープン)

あすたむらんど徳島内
四季彩館を改修

